

舞踊教育学コース入試 実技検査に関する Q&A

<試験内容に関する質問>

1. 必須課題について

Q. 募集要項に「1 必須課題 舞踊・スポーツに必要な身体支配能力をみるための基礎運動」とありますが、具体的にはどのような試験なのでしょう？

A. 舞踊系の必須課題は、基礎的な動き（ジャンプ、回転、バランス、ステップなど）を組み合わせた短いフレーズを、実演見本を見ながらその場で覚えて踊るというものです。見本が示した動きをよく観察し、できるだけ正確に再現する能力をみる試験です。床がリノリウムのダンス室で行いますので、裸足、靴下、またはダンスシューズを着用するのがよいでしょう。

瞬発力を見る必須課題は、スポーツやダンスに必要な基礎的な能力を測定します。高校の体育の授業で行う体力テストのようなものと考えてください。体育館内で行いますので、体育館履きが必要です。服装は、ダンスウェアやスポーツウェア、T シャツとレギンスなど、動きやすい服装を着用してください。また体育館内は寒い場合があります、待ち時間もあるので、厚手の上着、厚手の靴下など防寒対策をしっかりとってください。

2. 舞踊課題について

(1) 既成作品について

Q. バレエのバリエーションに 1 分以内のものはありませんがどうしたらよいのでしょうか？

A. 1 曲全部を踊る必要はありません。最初から 1 分までの部分でも結構ですし、途中から始めてもよいですし、1 分間で見せ場がまとまるように自分で編集してもかまいません。ただし、時間を超過した場合は、1 分になった時点でこちらから合図をし、踊りを終了とします。また、時間については、前奏の音楽がある場合は、前奏が始まった時点から計測しますので注意してください。

Q. バレエはトゥシューズで踊った場合と、バレエシューズで踊った場合では評価が変わりますか？

A. 変わりません。自分の踊りやすいほうで踊ってください。当日は、松脂などの滑り止めは使えませんが、床がリノリウムなのでトゥシューズが滑ることはないと思います。

Q. 既成作品の舞踊ジャンルによる基礎点の違いや、自作品の場合の追加点などがありますか？また表現力と技術力のどちらがより評価されますか？

A. ジャンルによる評価基準の違いや自作品であることの追加点はありません。どのようなジャンルでも、1 分間の上演における技術の確かさと表現の深さを含めた完成度が総合的に

評価されます。

Q. スパニッシュやタップダンスを選択することはできますか？

A. 可能です。ただし、要項にも記載してあるように、靴底の硬いシューズで踊る場合は、こちらで用意した 2 m 四方の板の上で踊ることになります。使えるスペースが限られていることを考慮に入れたうえで、振付を考えてください。

Q. 新体操なので、手具を使いたいのですが。

A. 要項にも記載してあるように、天井までの高さが 2 m 7 6 c m しかありませんので、手具を上方に投げる演技は禁止です。天井の蛍光灯などを破損する恐れがあり、危険です。過去に、リボンやボールを使った受験生がいましたが、リボンの長さを短くしたり、ボールを投げない方法で使うという工夫をしていました。新体操の評価基準で採点するわけではありませんので、手具の改良や手具を使った動きの工夫はかまいません。また、徒手演技でもかまいません。

Q. 舞踊課題に使う会場の広さ（縦横の長さ）を教えてください。

A. 一般的なお稽古場の広さと考えてください。舞台ほど広くはありませんが、一人でバリエーションを踊るには十分な広さです。

（2）創作（課題は当日提示する）について

Q. 創作課題は当日提示されるということですが、創作はどのように行われるのでしょうか？また何分くらいの作品を作るのでしょうか？

A. 創作の課題は、受験生が会場となる試験室に入室した時に提示されます。これまでの例では、各自で 1 分くらいの作品を 5 分から 10 分くらいかけて創作するという課題となっています。本学 HP の入試・入学案内ページに、創作課題の過去の入試問題を公表していますので参考にしてください。

Q. 創作課題はどのように提示されるのでしょうか？また、音楽は使うのでしょうか？自分で音楽や衣装を持っていく必要はありますか？

A. 創作課題の提示の仕方はさまざまです。年度によって変わります。音楽があるときもあれば、無音（踊りだけ）の場合もあります。音楽や衣装を持参する必要はありません。必須課題の際の服装で結構です。

Q. 創作課題にむけて、どのような練習方法がありますか？

A. 様々な方法があるとは思いますが。例えば、何かしら題材やテーマを用意し、想定される試験時間を気にせずに、少し時間をかけて題材やテーマにふさわしい印象的な動きを動き

ながら創ることから始めると良いと思います。題材やテーマから連想される心情・事柄・モノなどを言葉で書き出すという作業も、動きを考える助けとなるでしょう。その後、創作時間をより短くしながら、様々な題材やテーマに対して、作品の始まり方と終わりを意識して素早く動きを構成するという練習を行うなどが考えられます。

<推薦入試について>

Q. 推薦入試はどういう基準で選抜されるのでしょうか？また、成績が A または A+でない場合でも応募できますか？

A. 募集要項にもありますが、舞踊において特に優れた能力と意欲を有する者、または学業の成績がきわめて優秀な者を選抜するのが推薦入試です。成績が A または A+でない場合でも応募可能です。

Q. 推薦入試と一般入試の両方を受験することは可能ですか？

A. 可能です。

付記：上記の記載情報は変更になることがありますので、必ず募集要項をご確認ください。